

令和4年度第2回ボランティア市民活動推進協議会 会議録

1. 開催日時 令和4年10月26日(水) 19時00分から21時30分まで
2. 場 所 市民交流棟 2階会議室
3. 出席者 (委員) 前田 眞、青木 ルリ、山川 和子、横内 博之
坂上 京子、横内 薫
(事務局) 地域振興課長 西岡 孝文、
大西 陽介、井原 広一、菊池 花乃
ボランティア市民活動センター 所長 藤原 雅秀
4. 傍聴者 なし
5. 会議内容

【協議会】

1. 開会
2. 議事
(1) ボランティア意識調査について
3. 閉会

6. 会議録

発言者	発言内容
	<p>【協議会】</p>
	<p>2. 議事</p>
	<p>(1) ボランティア意識調査について</p>
会長	<p>ボランティア意識調査について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料に基づき説明)</p>
会長	<p>資料①について質問はあるか。市民向けアンケートについて、アンケート対象2,000人、決定方法が市内に在住している市民の中から無作為抽出するということだが、年齢制限は考えられているのか。</p>
事務局	<p>年齢制限については、今回は19歳以上から70代を対象としたいと考える。市内高校生にも別でアンケートを実施するため18歳までの回答は高校生アンケートで回収する。</p>
会長	<p>市民向けアンケート票を見ると、80代以上の選択肢もあるが、70代以上という項目に変更するということか。</p>
事務局	<p>はい、70代以上という選択肢に変更し80代以上の選択肢は削除する。</p>
会長	<p>依頼文書が届いて回答する意思はあるが、ウェブでの回答が難しいという方にはどのような対応をするのか。</p>
事務局	<p>回答の意思のある方には、依頼文に乗せている問い合わせ先にご連絡いただき書面でのアンケートで回答いただけるよう検討している。</p>
会長	<p>市民アンケートについて、事務局より説明をお願いします。</p> <p>(資料に基づき説明)</p>
会長	<p>資料②について質問はあるか。</p>
委員	<p>今回、システムの都合上その他(具体的に)の選択肢を削るということになっている。その他で自分の意見を書きたいと考えている人もいることが想定されるため、自由記述項目その他部分は削除せずにそのまま選択肢として残していただければと思う。</p> <p>問11. ボランティア活動をしていない理由を教えてください。という質問の中で、例えば選択肢の一つとして、ボランティアが何かがわからないからという選択肢を加えてみてはどうか。問11の選択肢の中にはネガティブな理由が並んでいるが、ボランティアがわからないから活動していない方がいることも考えられる。</p>

質問 16 と質問 17 の内容が似ているためまとめたという事務局案についてだが、どのようにまとめるのかが私たちには想像ができない。質問 16 は、選択肢の内容を見ると、ジャンルのことを聞いている。それに対して、問 17 は、活発になるための方法を質問している。ジャンルと方法をまとめて聞くことは難しいのではないか。仮にまとめるのであれば、問 14 と、問 17 の二つであれば工夫次第ではまとめられると思った。ただ、問 14 については問 13 とまとめたという事務局案が出ているため検討しただけだと思います。

問 18 についてボランティア経験のある方もない方も少し答えにくい質問になっていると思った。また、この質問から出た結果をもとに何に役立てるのが見当がつかない。意見ではなく質問となるが前回も同じ質問をした際に、この質問から策定時にどのように活かしたのか教えていただきたい。

市民アンケートから進んだ質問になるが、市内高校生対象のアンケートについて中を見ていると、災害ボランティアのことや、防災士の資格取得についての質問がある。この質問は非常にいい質問だと思った。一方で市民、団体、企業アンケートの中には、この防災関係の質問がなかった。市内高校生アンケート以外の 3 つにも災害ボランティアや防災士の質問はあったほうが良いと感じた。

会長

質問の中でクロス集計の材料として在住地域を聞いてもいいと思う。地域別でボランティアの様子が見えると、今後地域ごとにどのような対応をしていけばいいのかわかると思う。

問 5 について、選択肢 1 の「週に 4 回以上」という定義があいまいだと思った。ほとんど毎日など具体的な数字ではないほうが答えやすいと思った。先ほど出ていた意見と似たものになるが、その他（具体的に）という選択肢について、システム上難しいのであればその他という選択肢だけでも残したほうが良いと思った。

問 9 の選択肢特になしという表現を少し変えてもいいと思う。

問 11 について、特に興味がないからと人の世話をするのがいやだからの順番を変えてもいいのではという意見が出た。

問 13 と問 14 についてまとめたという事務局側がしているが、問 13 の選択肢を見ると理由について聞いている。問 14 のきっかけとは統合せずにそのまま残したほうが良いのではないかと思った。

問 15 は省略してもいいと思う。

問 16、17 について、他の委員が言っていたように、問 16 は内容やジャンルについて聞いている。問 17 は活発に行える環境をどのようにすればいいかを聞いているため統合は難しいという意見が出た。

問 18 についてもたらしものについてではなく、ボランティアの価値という表現のほうが良いと思う。

問 19. ボランティア活動の報酬については、いろいろな考え方がある。市民がどう考えているか、聞いてもいいと思う。報酬の内容が少額の報酬や、弁当代など報酬として出していいという考え方もあると思う。

問 20 は事務局案で追記されている表彰制度や、ボランティアポイントについても項目として入れておいてもいいと思う。

企業の貢献活動について、これは市民の方が考える貢献活動と、企業の方が考える貢献活動に対する考え方との対比をしていった際に、市民の方が思っていることが企業の方にも伝わり、企業の方が思っていることを市民に伝えることも大事なので、ここは残してもいいと思った。

災害ボランティアについては他の委員の方が言っていたのと同じように今の質問だけでは寂しい。もう少し災害ボランティアの質問については検討できればと思う。

問 24 についてはセンターを知っている方にセンターを知ったきっかけを聞ければいいと思った。

会長 続いて、団体アンケートについて事務局より説明をお願いします。

事務局 (資料に基づき説明する)

会長 資料③について質問はあるか。

委員 問 4 の質問は聞いても活用できないと思うので省いたほうがいいと思った。問 11～13 について団体アンケートでなぜ NPO 法人の質問があるのかがわからない。団体向けの調査になるので NPO 法人の質問は不要と考えた。

事務局案で追加されて SDG s に関する質問があるが、17 項目の目標について、ほとんどの人が内容を理解できていないと思う。別で SDG s について説明しているものを、添えて理解してもらう必要がある。

委員 事務局への質問になるが、事務局案で追加となっている平均年齢をなぜ追加するのか知りたい。問 4 の質問内容を頻度ではなく活動の有無に変更したい理由を教えてください。また、先ほど他の委員がおっしゃっていた NPO 法人に関する質問を入れたい理由を教えてください。この三つについてどう活用していくのかの説明を求めます。

事務局 追加の平均年齢について、ボランティア団体 210 団体を対象としているが、センターもすべての団体会員のことを把握しているわけではない。そこで、年齢層別にどのような情報発信を今後考えていけばいいのか考える機会とし、またクロス集計に活用したいと考えている。

問 4 の頻度について、質問を活動の有無に変更したいと考えたのは先ほども申した通り、現在センターは 210 団体の活動の有無を把握できていない状況である。今後センターが団体にどのような情報発信や支援を行えるかを考えるために質問をしていきたいなと思っている。

委員 活動の有無の質問について、1 年間で活動があったかどうかなど具体的な期間を入れたほうが団体も答えやすいと思う。

事務局 コロナで活動ができていない団体がいることも踏まえて質問の期間については検討したいと思う。

委員 活動がないと答えた方には、現在活動できていない理由は何かを質問してもいいと思う。質問の選択肢の中にコロナウイルスの影響を追加するといいと思う。

事務局 続いて、NPO 法人の質問について現在 17 の NPO 法人が市内で活動をしている。ボランティア団体が今後活動を拡充していく手段として NPO 法人があると事務局では考えている。地域振興課で NPO 法人の所管もしているため法人格を取得しようと考えている団体の数がある程度知りたいと思い質問に挙げている。また、前回、前々回で使用した質問は今回も残していきたいと事務局では考えている。

委員 前回のアンケートから踏み込む質問になるが、前のアンケートで NPO 法人に関心が

あると回答した団体が6団体ある。そのような団体にはどういった働きかけをしたのかわかれば教えていただきたい。

事務局

今すぐには回答に対する反応はわからない。

会長

事務局案で追加されている、会員の平均年齢については団体の実情を知るために追加してもいいと思う。結果として、実数を書いてもらうのか選択肢にするのか考えていただければと思う。

活動の有無についての質問は追加してもいいと思うが、頻度の質問も残したままでいいと思う。また、活動のなかでコロナウイルスの影響があったか聞く質問があってもいいと思う。ボランティアの頻度について、ここは市民アンケートと同様にほとんど毎日という選択肢が望ましいと思った。

団体の活動になるので、謝礼・報酬を受けているのかという質問はあってもいいと思う。

問7の主な収入源が何なのかという質問は基本財産運用益というのがよくわからない。注釈をつけるか、聞いてもわからないものは削除してもいいと思う。

問8の活動の拠点がなという選択肢についてボランティア活動はいろいろなところに出かけてすることが多い。活動できる場所がない場合と活動の事務所がない場合と意見が混ざること考えられるため選択肢について考えなおす必要があると思う。

問9は市民アンケートと同様に選択肢に表彰制度、ボランティアポイントの導入は入れてもいいと思う。

問10の災害時にどのような活動ができると思うかの質問について、市民アンケートについても同様の質問があればいいと思った。市民が災害時に動くときもどのような行動ができるかを聞く質問を加えてもいいと思う。

NPO法人については、ボランティア団体へのアンケートになるが関心があるかどうか知りたいため聞いてみてもいいと思う。知らないという意見が多いのであれば、情報発信について考え直すきっかけになる、この質問はこのまま残してもいいと思う。問13でメリットを聞くのであればデメリットを聞くことも検討してみてもどうか。

例えば、ボランティア活動の中身によっては事務作業がふえて大変であるとか定期的な報告が増えるだとかわざわざNPO法人にする必要のない団体もいるためそれぞれの団体に伝わるような質問にできればと思う。

問14~17は、センターの充実度を聞くというところでセンターの価値を聞く質問になると思う。

問18はどのようなものができたらいいかを聞く形にしてはどうか。メールボックスのようなものがあってもいいと思った。常設の貸事務所があればいいなどの選択肢を設けるといいと思う。

SDGsの質問については、自分たちの活動がどのような目標ができるのか考えてもらう機会になると思う。ただ、ゴールのイメージを伝える必要があるので別紙で確認してもらいたいと思う。

事務局

SDGsについては今回追加になるので、別途依頼文のほうには前回協議会で話が出たボランティアとはという説明書きもいれようと考えている。

今自分がしている活動がボランティアなのかどうかの判断が個々で違うことが考えられるため依頼文の冒頭に付け加えたいと思う。

さらにSDGsについても、同様に説明を加えさせていただく。

会長

続いて、企業アンケートについて事務局より説明をお願いします。

事務局	(資料に基づき説明する)
会長	資料④について質問はあるか。
委員	企業ボランティアの質問だが、問2の従業員数を知りたい理由はなぜかという意見が出た。
事務局	従業員数についても、クロス集計の材料として使用したいと考えている。
委員	ボランティアポイントの導入と表彰制度について出ていると思うが問17の表彰制度についての質問は省くが、どうして表彰制度という文言を残しているのかが気になった。企業的に表彰がまだ必要なのか、そこを知りたいと思う。 ボランティアポイントはわかるが、企業側が市の表彰を望んでいるのか望んでいないのかを知りたい。
事務局	前回の質問で表彰制度についての質問があった。実際に回答の中には、表彰制度を望む企業もあった。ただ、表彰制度の質問もいるかいらなしかし問わず質問自体も意味を持たなくなってきた。そこで問15の行政に求めることの中で入れたらいいと思った。
委員	ボランティアをすること自体が表彰されたいという気持ちでするものではないと思う。形として、周りからすごいといわれるためにするものではない。このように考えたら、表彰制度という言葉自体が不思議だと思う。
事務局	個人団体でしている方は、そのような気持ちでボランティアをされていると思うが企業側は自分の会社がボランティアに取り組んでいるという、PRしたい気持ちも持っていると思うため、今回表彰制度を行政に対して求めているのか聞きたいと思う。
委員	ボランティア市民活動センターを利用したことがありますかという質問について、企業がセンターを利用するときは企業ボランティアの登録をするときくらいではないか。そのあとはあまり使うことがないと思うが、この質問はどのような意味があるのか。 いずれ、市民交流棟を企業も利用できるようにしたいと市が考えているのであれば使用したいと思うかの質問に変更したほうがいいと思う。最後に、アンケート結果を必要としている企業には会社名や住所などを書いていただくと思うがボラ7通信を送付してもよいかという質問をいれてみてはどうか。 今後ほしいというところがあれば、ボランティアとは何かがボラ7通信を通して少しずつわかってくるかもしれない。必要としている企業があるのであれば送るという質問ではなくあくまでセンターから希望があれば送付するとなるとほしいと思うかという質問ができればと考える。
委員	データの送付が可能なのであればメールで送ってもいいと思う。ボラ7通信の紙面には企業ボランティア登録の内容も入っているので、センターとの関わり方について理解していただければと思う。
事務局	事務局としては、必要としている方には送付したいと考えている。質問についてと

送る方法については検討したい。また、質問いただいた問 19 については内容を少し変えて、企業の登録制度を知っていますか。という質問に変えてもいいと話を聞いて思った。

会長

こちらのグループでも同じような意見が出た。

問 5 については事務局案通りなくてもいいと思う。問 11 もなくていいと思った。

問 17 についても、問 15 に表彰制度の選択肢の追加があるので不要だと思う。

1 番議論になったのは、問 19 の質問についてだ。企業として四国中央市ボランティア市民活動センターを利用したいと思いませんか。という質問のほうがいいと思う。どういう目的で利用するかの前置きが必要になるため、センターを企業が使用するとなれば具体的な使用例を書いたらわかりやすいと思う。使用例で会の打ち合わせと書いてしまうと、企業活動の会の打ち合わせと捉えてしまう可能性があるため、社会貢献活動についての形で使えるようになればいいと思う、また、ボランティア団体や NPO 法人との交流の場としてセンターを使用できればと思う。

例えば、生理用品の配布をしたいが協力いただける団体はないかだとか、フードドライブ、フードバンクを検討しているが一緒に活動してくれる団体はないかななどのボランティア依頼が考えられる。マッチングに近いものになるが、どんな活動をしたのか、或いは SDG s でいうと再生エネルギーの勉強会の NPO 法人と一緒にしたいだとかみたいなことがわかったりすると思った。

問 22 と 24、25 はなくてもいいと思う。

会長

最後に高校生アンケートについて事務局より説明をお願いします。

事務局

(資料に基づき説明する)

会長

資料⑤について質問はあるか。

委員

まず、質問 3～4 について順番を逆にしたほうが高校生は答えやすいのではないかと思った。問 4 であなたが参加したボランティア活動はどの分野にあたりますか。とボランティア活動の分野を見て問われていることを理解したうえで、問 3 のきっかけを聞ければ、自分がボランティアをしたことがあると認識して答えることができると思う。問 3 の項目に将来の進路のためなどの具体的な選択肢を加えてもいいと思った。

問 8 ボランティアが始めるとしたらどのようなきっかけがあれば参加しようと思えますか。について事業主からの勧めによってという選択肢の意味が分からない。このケースはどのようなことを聞いているのか。

事務局

団体、企業と同じ選択肢を入れているものになる。委員がおっしゃっているように高校生に対して聞いて選択される内容でもないため削除したい。

委員

先ほどもお話しした災害ボランティアの質問についてはこのまま残し、ほかのアンケートでも入れることができればと思う。高校生が防災士という単語を聞いたときに防災士を知らないことも考えられるのでどのような資格であるかを記述すればいいと思う。

会長

性別を質問に加えてクロス集計の材料にできればと思った。

問 6 についてはこのままなくてもいいと思う。問 7 もこのままなくてもいいと思

う。

問8について問いかけの中に自主的にボランティアを始めるとしたらなど自発性のある単語を文頭において質問されると少し変わってくると思う。

問9についてはこのままなくてもいいと思う。

問10についてはボランティア活動が自身にもたらしものを高校生に考えてほしいので残した方がいいと思った。

問11の災害について、質問の後に災害時のボランティアの活動について具体的に聞ければと思う。災害が起こった時に、自分たちのボランティアの関わり方を考えればと思う。高校生は守られる考えから具体的に守っていく存在に変わっていけばと思う。

問16～18についてセンターを利用した事があるという人だけでいいので、目的や対応について聞ければいいと思う。

問17の選択肢の4. ボラ7についての意味がよく分からない。選択肢の中に、5. 学習、6. その他を追加してもいいと思う。

事務局

4のボラ7の選択肢についてはボラ7本人に聞いている。

会長

ボラ7の活動についてボラ7のメンバーにしか該当しないため削除するべきだと思う。

また、高校生の中には市民交流棟がセンターだと思っている生徒もいることが考えられる。市民交流棟とセンターと混合しないような工夫ができればと思う。

会長

今後のスケジュールを事務局より説明をお願いします。

事務局

12月に本日お話しいただいたアンケートの実施を予定している。たくさんのご意見をいただき、本日の内容を踏まえて修正し確定版の状態を事務局としては、会長・副会長にお示しし最終意見をいただければと考えている。

その後、会長・副会長の意見を反映させたものを委員の皆さんに郵送し内容を確定したいと思う。

今後は、協議会を開くことなく書面で対応したいと考えているがよろしいか。

委員

(異議なし)

事務局

郵送させていただくときには、依頼文も完成させて同封できればと思っている。たくさんのお返事をいただけるよう、工夫をして作成していく。

また、資料⑥についても簡潔にまとめたものになるが見せ方を工夫して作成したいと思っている。

最後に、共通認識として今回紙ベースで委員の皆様にはアンケート案を示しているが、実際に行うアンケートについてはWebアンケートになる。

Webでのアンケート回答が難しい方で回答の意思がある方には、ご連絡いただければ書類を郵送する形になる。

会長

議事は以上で終了したので、進行を事務局へ戻します。

課長

令和4年度第2回ボランティア市民活動推進協議会を閉会する。